

ワットサム

議会だより

号外

2013年6月20日発行

発行／北海道和寒町議会

編集／議会広報委員会

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの語源です。

三和地域センター



大成寿の家



議会報告会

中和地域センター



町民センター子供会室



平成25年4月15日～16日開催

4月15日～16日に、三和地域センター、大成寿の家、中和地域センター及び町民センター子供会室の4会場で、議会報告会を開催しました。

皆さまからいただいた議会・町政に対してのご意見等を、各委員会の所管ごとに整理をさせていただきましたので報告会の結果としてお知らせいたします。

議会報告会の概要

1. 開会
2. 進め方の説明
3. 議会活動の報告について

■総務福祉常任委員会

- ①総合庁舎大規模改修について
- ②葬斎場整備について

■議会広報委員会

- ①第32回町村議会広報コンクール入選について

■産業教育常任委員会

- ①新エネルギーについて
- ②有害鳥獣焼却施設について

■議員報酬及び定数調査特別委員会

- ①議会の役割について
- ②議員報酬と議員定数について

4. 町議会への要望及び意見交換
5. 議会報告会参加者アンケート
6. 閉会

議会報告会への参加にあたって

お礼のご挨拶

和寒町議会基本条例に基づき、議会改革・議会活性化の取り組みの一環として議会報告会を開催したところ、町民の皆様におかれましては時節柄ご多忙にもかかわらず、多数のご参加を賜り心よりお礼申し上げます。皆様より貴重なご意見・ご提言を聞かせていただき、さらには、当日各会場で実施したアンケート調査においてもご協力いただき深く感謝いたします。

議会報告会の開催は条例施行前から数えて6回目でしたが、貴重な広聴の場として、重要性を改めて感じたと考えております。次回以降の開催に向けて、報告内容や開催時期・時間帯についても、町民の皆様が参加しやすい方法となるよう検討してまいります。

今後とも議会の機能向上や情報公開をはじめ、より開かれた議会を目指して議会改革に取り組んでまいりますので、皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。お礼のご挨拶とさせていただきます。

和寒町議会議長 塚崎 正

質疑応答

◆産業教育常任委員会

Q ボイラーの関係で、保健福祉センターまでは配管が伸びているのに、町立病院まで伸びなかつた理由はあるのか。

A 議会からも町立病院もという話が出た。大規模改修が終わったばかりで、更には電気暖房のため配管等を全部やりなおす必要がある。莫大な経費がかかるため実施に至らない現状。



▲熱源供給施設

Q 木質バイオマスの年間の運営費はどの程度かかるのか。

A 今までかかっていた重油や灯油代の1000万円の中で賄う計画になっている。

Q チップを作る人件費、町有林の間伐材等すべてをその金額の中でという考え方。

Q 毎年やっていったら、町有林がなくなるのではないか。

A 間伐材等のためそういうことはない。和寒町に町有林は1000haあり、間伐・皆伐等により循環していく。

Q 立木の持ち込みは可能か。

A 自分の家の庭木や山の間伐材も可能であるが、直径が6cm以上で2m以内との説明を受けている。

枝のようにチップにならないものは受け入

れ出来ないため西和処分場の扱いになる。

Q 持ち込んだ場合にお金はとられるのか。

A お金はとられない。

Q 細いものはダメだということとは、製造工程の問題なのか。枝であれば機械が噛んでいかないとか。

A 機械の性能上そういうことになる。

Q 雇用の創出とあるが、どの程度創出されるのか。

A 皆伐・間伐の事業費1580万円と化石燃料として1000万円支出しているものをチップ工場等の経費にして、雇用するので安定が生まれてくるという説明である。

実際に皆伐・間伐の作業にどれだけの人数が必要かはやってみないとわからない。その他皆伐後の育林などで働

く場が出てくるという期待される事業である。



▲燃料製造施設

Q 林業活性化で森林組合とのかかわりはどうなっているのか。

A 新たにチップをつくる協同組合に森林組合が加入することで、森林組合とのかかわりがつながる。

森林組合は、和寒の森林についてノウハウを持っていて、補助事業で造林等していくが、森林組合を抜きにして町行政だけではできない。民有林も含めて地域内循環型の経済を発展させていく事業のため森林組合をないがしろにできないと心配し

ていた。育林は行政ではできないので森林組合にお願ひしなければならぬ。

Q 町内にコンビニは3件あるが、生活用品を扱う店は基本的にはホクレンショップしかない。

A たとえば20年後、人口の減に伴う撤退も考えられる。そのときに日々の生活用品の確保の問題が懸念される。商工会だけでなく、議会の方でも考えてもらう必要があると思うが。

Q 現状として、商店がなくなりつつあるが、本町にはコンビニも3店舗あり、ホクレンショップがあるうちは町民が不便を感じることはないと思われる。

Q 塩狩温泉は国道を通ると格好悪い。

A 一目千本桜だといってもあの格好ではダメなので、町に何とかならないかと言っている。

Q 有害鳥獣焼却施設は

最初は煙を心配していたが、施設内を洗った水を表の砂利に流しているため臭い。

できれば舗装にして、トラフにグレイチングをかけて流すようにした方がいい。

A 所管課に連絡して、その対処方法を後で報告したい。

○産業振興課への確認○
建物内にはグレイチングのついたトラフがあり、施設内を洗った汚水は合併浄化槽に流れる構造になっているため、外に流すことはない。

Q 活性化センターのフ

ァックスのことだが、天気予報の情報は年間何百万も支出している。機械が壊れて利用できなくなっているものもある。システムを再構築したほうがいいと思う。

A なぜ2000〜3000

万も払うかということ、アメダスで和寒の気温など数値が管理できる。契約をやめるとデータが出てこなくなると担当は言っていた。

ただ、利用度が少ないので今後対応をどうするか考えないといけないと思う。

Q 新規就農者対策事業

の補助で、基準が甘いのではないかという話もある。

また、数か月で辞めた人でも返納義務もななく出せばなしで、なんの解決策もないとのこと。

議会としてどう捉えているのか。

A 受入農家支援補助は月3万円が経営主に出ている。これは町の規則で定められている。今言われたように基準の甘さも予算審査特別委員会ときに議論にもなっている。

Q 起業化支援事業補助

はなんの説明もなかったが、これまでの経過を町民にわかりやすく納得できるような説明はできるのか。

A 経過については説明させてもらう。(別表参照)

議会に報告があつた際に各種問題に対する注文をつけ、規則のつとつているかを精査している。

議論の中で、排水の問題を指摘しても「きちんと整備して遂行する」という答えが返ってくる。そうしたらすりあわせをしていくと反対要件がなくなり認めざるを得ない状況になる。その上で良いという判断のもと補正予算を議決している。行政からの説明では事業主の病気により事業遂行が困難になったという説明であり、それ以外には答えられないものがない。

別表

日付	行政の動き(概要)
8月15日	キムチ製造施設整備の支援要望を受理
9月6日	産業教育常任委員会に報告
随時	内容の整理、議会への説明
10月19日	臨時会において補助に対する補正予算を提案
11月19日	補助申請を受理
1月9日	補助金交付決定通知
3月25日	事業実績報告書を受理
3月28日	工事完了検査・現地調査
4月1日	事業主から補助金辞退の申し出
4月9日	補助金交付決定の取り消し

Q 3000万円の補助

を議会として事前調査をしたのか。

A 喧々譁々たる意見が出て、ぎつしり事前調査を行い、内容としては適正であることを認めており、議会としてはきちんと調査をして決定したという答えになる。

A この事業は和寒の生産物を使って特産品を作るというもの。

Q 代表者と構成員の責任になると思うので、

議会なり行政がアドバイスするなりしてサポートするしかないのではないかと。

A 行政からは、請負業者への被害があることに道義的な責任を感じているとの言葉があつたことはお知らせしておく。

Q 新規企業も大事かも

しれないが、既存の企業が潰れていく状況で、新規企業の誘致ばかり進めてどうするつもりなのか。

Q 業者に損害が出ており、その責任は議会としても行政としてもどうするのか。

A その話は発注側と受注側の問題。

議会の責任としては予算の承認までとなっている。それ以降の話は議会としての責任はないというかたちになる。

Q 子どもが「ゆるキャラを作ってほしい」「どうして和寒にないのか」と言う。町のアピール、イメージアップのために検討してほしい。

カントリーサインの話は何年か前からあったと思うが。

【参加者からの情報】ゆるキャラとカントリーサインは、分村100年に向け変えようということ、観光協会ですのうち動きが出てくると思う。

よさこいのゆるキャラはあるが、町全体のモノがない。観光協会で作りたいと言っているが、具体的にはなっていないが話はある。



▲よさこいのキャラクター

Q 市街地の除雪は一般家庭の取り付け道路に雪があっつけられたときに、シヨベル等でやってくれるのか。

A 個人で実施している。

◇総務福祉常任委員会

Q 葬斎場の整備の関係で工事期間中に町外利用した場合、差額を町が持つということだが、交通費はどうなるのか。霊柩車やマイクロバスは、距離で金額が変わる場合がある。

A その話は具体的な説明はない。持ち帰って確認させてほしい。

○住民課への確認○
使用料以外の経費については対象としていないため、交通費は対象外となる。

Q ゴミ収集カレンダーをもらっているが、土別が生ごみから抜けると聞いた。和寒・剣淵2町で今後運営上、問題はなののか。

A 2町で運営することから、負担は増えることになるが、戸数も減ってきており、生ごみの処理量からもそれほどは増えない。

◇議員報酬及び定数調査特別委員会

Q 道新に和寒の人口が2000人になると載っていた。これでは議員が多いのではないか。

A 2040年には、1900人台で今の半分になると予想されている。基本的には選挙ごとに議論していく。

Q 報酬については適当だと思っている。定数については、過去の例で6名が辞め2名が新たに増えたこの話があったが、そのときは議員年金の廃止の情報があり、やめた人が多かったのは事実である。

そういう情景も頭に置いてもらわないと。
A 平成19年にはそういう動きはあった。

平成23年は年金廃止の影響はなかつたにも関わらず10名のうち3名の入れ替わりがあった。新たに3名も出てきたことは、地域の実情からみても大変なことだと認識している。

選挙があるに越したことはないし、あって当然と考える。

Q 単に無投票を回避するための削減というのは違うと思う。その理由だけで減らしたら次期も無投票なら更に削ることになる。

定数が減ると、少ない中でもリーダー的存在ができて、その人の独断になったり、町政に対する意見が言えなくなるなどの弊害が起きるのではないかと思う。

少なくともやはり10名程度はいた方がよい。※質疑応答の流れ上、回答はありませんでした。



(参考) 和寒町と下川町の比較

	和寒町	下川町
議長	24万6,000円	26万0,000円
副議長	19万5,000円	20万8,000円
常任委員長	18万0,000円	18万6,000円
議員	17万0,000円	17万5,000円
平成25年度 一般会計予算	41億8,000万円	50億8,800万円

Q 下川町は人口3600人で和寒と同じくらい

の町で、8人の議員となっている。予算規模はどうなっているのか。

A 申し訳ないが他町村の予算資料を持ってきていない。

下川町は8名で、一委員会制でやっている。人数を減らし、議員の役割が大きいので報酬は現状維持できていると聞いている。

Q 町民は選挙になる方が

良いと思っていることは間違いない。

現在、農家の議員がいるが、農家であれば4月選挙は繁忙期で大変な状況であるため、選挙の時期をずらすなどして立候補しやすい環境づくりとしては、議員が総辞職して選挙時期をずらすという方法もあると思う。

A 我々議会には選挙時期を決定する権限はない。

総辞職という話だが、権利をはく奪することは大変な問題である。自分一人が権利を放棄することは違い、他の人の権利を奪ってまでやるということにはならない。

Q 議会として10人の定

数でいくというのであれば町民に理解してもらえないよう話をしてほしい。

A 議会の中では、1減

や現状維持などの意見がある。結論は12月定例で出したいと思っている。



◇議会広報委員会

Q 昨年12月に議会を傍聴して、その後の議会だよりを読むと内容が物足りない。

限られたページ数、字数があるので難しいと思うが、しり切れトンボみたいな気がする。写真もいいが字数を多くしてほしい。

A 一般質問は、議員個々が原稿を提出している。

広報研修では文字ばかりだと読まれなくなるという指摘を受けている。読みたくなるような紙面にするため、写真やイラストを必ず一点入れるようにして

いる。詳しい内容が知りたい場合は、図書館で議事録を閲覧できる。

Q 広報誌は他の町村も

モノクロなのか。

A カラーのところもあるが少なくなってきた。表紙だけカラーというところもある。和寒も薄いグリーンの2色使いをしていた時もあった。

◇議会運営全般

Q 議会の役割に意見書の提出権があるが、PPPの関係で提出したこのことだが、和寒町議会ですら取組みをしているのか。

A 経過としては交渉参加に反対の意見書を合計4回採択しており、関係機関へ提出している。

3月定例会の際、国の参加表明後にも議決している。

Q 昨年傍聴したが、町

長も議員も、もっと紳士的に話し合うのかと思った。

A 新聞記者も来ていたが、そのことについて何も書いていないということは、ちょこちょこやっているのかなという気がして見てきた。

我々としても紳士的な答弁をいただきたいと思うが、時には熱が入ってそういう場面になる。また、我々も資質の向上を図って質問しなければいけないと思っ

議会報告会における行政に対する意見等については、取りまとめしたものを行政へ報告し、対応等を要請していますのでお知らせします。

また、紙面の都合により、内容の簡略化やすべての質疑応答が掲載できておりませんがご容赦願います。

議会報告会アンケート結果

◆参加者数 63名中 53名記入 84.1%

○性別・年齢

	30代未満	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男	1	2	8	10	14	16	51
女	0	0	0	2	0	0	2
合計	1	2	8	12	14	16	53
率	1.9%	3.8%	15.1%	22.6%	26.4%	30.2%	100.0%

○職業

農林業	建設・鉱工業	商業・サービス業	公務員・各種団体	主婦（夫）	その他	合計
30	1	4	1	2	15	53
56.6%	1.9%	7.5%	1.9%	3.8%	28.3%	100.0%

○議会だよりを年4回発行していますが、読んでいますか。

毎回読む	38	71.7%
ときどき読む	14	26.4%
ほとんど読まない	1	1.9%
合計	53	100.0%

○議会だより「ワットサム」紙面の内容やレイアウトなどの感想・意見

<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する回答、円グラフ等を使い分かりやすい。モノクロでは寂しい感じがする。表紙には町民等が写ることも多いので、カラーでも良いかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・だんだんレイアウト等改編され、見やすく分かりやすくなった。町行政の内容、議会の内容等読んで分かりやすい。なにより情報社会なので、情報を町民に伝えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・町広報紙と同時に配布されるが、「ワットサム」の方が取り残しが多い。配布時期はずらした方が良いのでは。町広報紙の後追いの内容になる部分があれば工夫が必要。

○議員月額報酬についてどのようにお考えですか。

適当な額	少ない	多い	わからない	未回答	合計
29	5	2	14	3	53
54.7%	9.4%	3.8%	26.4%	5.7%	100.0%

- ・管内の平均となっているので、現状でよいと思います。
- ・報酬が少ないと議員になろうとする人が少なくなる。
- ・議員の質の向上にも、報酬は多くすべきと思う。

○議員定数10名についてどう思いますか。

現状でよい	削減すべき	増やすべき	わからない	未回答	合計
35	6	2	3	7	53
66.0%	11.3%	3.8%	5.7%	13.2%	100.0%

- ・定数は今のところ現状でよい。人口が大幅に減った時に考えるべき。
- ・無投票で緊張感が欠けるというなら、支持率を集めて公表する方法をとってはどうか。

削減すべき数		削減理由
1人削減	3	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減のため ・削減した経費を現職議員の報酬の一部に充て、議員として生活できる報酬にする。 ・議員の質の問題。報酬も減らせ（期末手当廃止）。
2人削減	3	
3人削減	0	
計	6	

増やすべき数		増やす理由
1人増	0	<ul style="list-style-type: none"> ・議員一人当たりの仕事を減らし、内容を濃いものに。 ・議員になれるハードルを下げる。
2人増	1	
3人増	1	
計	2	

○町議会に対するご意見・ご要望など。

- 定数ながら緊張を持ってやっているといます。議員の苦勞が分かる気がする。
- カントリーサイン、かぼちゃ王国、駅前工場、シカ肉加工、高齢者住宅・施設の設定
- とにかく町の動き、議会の内容を知りたい。広報紙等で広く知らせてほしい。
- 現状でかなり良い状態だと思っています。引き続きよろしくお願いします。
- 町民の意見をもっと素直に聞いてほしい。
- 報告会の回数を増やしてほしい。
- 議会報告会では、素人の不勉強な意見であっても聞くくらいであってほしい。
- 体に気をつけて頑張ってください。
- 議員は誠実であれ。
- 色々と大変だと思いますが、今後も頑張ってください。

お知らせ

新たな委員会構成が決まりました

常任委員、議会運営委員、議会広報委員は任期が2年とされており、平成25年4月30日開催の第4回町議会臨時会において委員の指名が行われ、委員長・副委員長は互選により次のとおり決定されました。

なお、改選後の任期は平成25年5月10日からとなっています。

各委員会の構成

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務福祉常任委員会	兼丸 昇	中道眞佐義	塚崎 正	虻川 政義	下條 美恵
産業教育常任委員会	佐々木広行	金谷 浩幸	中原 浩一	酒向 勤	石田 利美
議会運営委員会	酒向 勤	虻川 政義	中原 浩一	中道眞佐義	
議会広報委員会	中道眞佐義	下條 美恵	酒向 勤	石田 利美	金谷 浩幸